

平成19年春季特別展

稲作とともに伝わった武器

会期/平成19年4月28日(土)~7月1日(日)

◆主催:大阪府立弥生文化博物館、文化庁、朝日新聞、朝日放送

◆後援:財団法人大阪21世紀協会、和泉市、和泉市教育委員会、泉大津市、泉大津市教育委員会 ◆協賛:株式会社国際交流サービス



講演会

場所:1階ホール「武器とまつり」
日時:5月13日(日)午後2時~4時(受付/午後1時~)
対談:水野正好(財団法人大阪府文化財センター理事長)
全開 恕(大阪府立弥生文化博物館館長)

考古学セミナー

場所:1階ホール 時間:午後2時~4時(受付/午後1時~) 全国参加者には修了証と記念品を贈呈いたします。

- 第1回 「中国・四国地方における弥生時代の戦いについて」4月29日(日)松木武彦(岡山大学)
- 第2回 「逆茂木幻想が語るもの」5月27日(日)赤塚次郎(財団法人愛知県埋蔵文化財センター)
- 第3回 「青銅の武器と弥生人」6月3日(日)常松幹雄(福岡市埋蔵文化財センター)
- 第4回 「鉄器時代ヨーロッパ(前1千年紀)における武器と戦争:戦う社会を考える」
6月17日(日)ネスプルス・ロラン(大阪大学考古学研究室国費留学生考古学博士課程)
- 第5回 「武器・武装の日常と非日常-近畿弥生社会の変質からみたラフスケッチ-」6月24日(日)森岡秀人(芦屋市教育委員会)

ワークショップ

場所:地階セミナールーム「矛を作ろう!」樹脂製の鋳型に石こうを流して矛を作ります。
日時:4/28(土)、5/19(土)、6/2(土)、6/16(土) 午後2時~3時 定員20名

遺跡見学ツアー 「会下山遺跡を歩く」5月20日(日) 要申込 定員20名 要参加費

本館学芸員による展示解説 毎週日曜日と祝休日(午前11時から特別展示室にて)

戈、矛、劍、弓、盾、投彈……。弥生時代には水田稲作の伝来とともに大陸から新たな武器がもたらされ、縄文時代の狩猟具なども武器として使われるようになります。こうした新たな武器の登場や、殺傷人骨の存在、防御施設を備えた集落の出現は、弥生時代に集団的な戦いはじまった証拠だとされています。弥生時代の武器は、実戦で用いられる一方、大型化し装飾性を備えたものや武器形木製品が存在することから、まつりの道具としても機能していたことが知られています。

今回の展示会では、最新の調査・研究成果をもとに、弥生時代の武器をさまざまな角度から取り上げ、武器がその社会の中でどのように用いられ、また位置づけられていたのかをみていきたいと思います。

平成19年春季特別展 稲作とともに伝わった武器

展示構成

I 稲作とともに伝わった武器

II 武器のあれこれ

飛ばして攻撃する武器
手に持って戦うための武器
防御するための武器
武器のこしらえ

III 武器はこうして作られた

青銅の武器
石の武器

IV 戦いに使われた武器

殺傷人骨と武器
犠牲か、処刑か
殺戮があったのか
各地の武器
鉄の武器の広がり

V 変わりゆく武器

まつりの道具となった武器
埋納される武器



●墓に副葬された初期の青銅製武器
(重要文化財/福岡県吉武高木遺跡/文化庁・福岡市博物館)



●短甲(大阪府下田遺跡/財団法人大阪府文化財センター)



●埋納された銅戈
(福岡県三並ヒエテ遺跡/福岡県甘木歴史資料館)



●武器形の木製品
(岡山県南方(済生会)遺跡/岡山市教育委員会)

主な展示品

- 中国からもたらされた三翼鉄
(芦屋市指定文化財/兵庫県会下山遺跡/芦屋市教育委員会)
- 銅矛の鋳型
(重要文化財/佐賀県安永田遺跡/文化庁・佐賀県立博物館)
- 甕棺から出土した銅剣と多くの鉄
(佐賀県指定文化財/佐賀県高志神社遺跡/神埼市教育委員会)
- 鉄の剣
(京都府浅後谷南墳墓群/財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター)
- 研ぎ分けられた銅剣
(重要文化財/佐賀県検見谷遺跡/文化庁・佐賀県立博物館)
- 埋納された銅戈と祭祀土器
(重要文化財/福岡県藤・西小田遺跡/筑紫野市歴史博物館)

大阪府立弥生文化博物館

- 開館時間/午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日/毎週月曜日(ただし4月30日(月・祝)は開館し、5月1日(火)休館)
- 入館料/一般600円[480円]、65歳以上・高大生400円[320円]、中学生以下・障害者手帳を持つ方とその介助者1名は無料
([]内は団体料金・ただし20名様以上)
- 所在地/〒594-0083 大阪府和泉市池上町443
電話:0725-46-2162
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>
- 交通/JR阪和線「信太山」駅下車 西へ600m、南海本線「松ノ浜」駅下車、東へ1500m、国道26号線「池上町」交差点南西角
- 駐車場/普通車80台、大型バス7台(いずれも無料)



●東海の多孔銅鏃
(愛知県見晴台遺跡・岡瑞穂遺跡・岡富士見遺跡/名古屋市見晴台考古資料館)